

## 令和3年度 第2回

### アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会 会議録（案）

■日時：令和3年10月21日（木）15時00分～17時00分

■場所：フェリエ南草津5階 市民交流プラザ大会議室

■出席委員：肥塚座長、加藤副座長、及川委員、阿部委員、田畑委員、神部委員、阪本委員、秦委員、木村委員、伊庭委員、有村委員、福知委員、内山委員、亀石委員、松井委員

■欠席委員：松浦委員、北村委員

■傍聴者：3人

■事務局：木村副所長、岸本副部長、田中参与、本村調整員、中瀬参事、中野主任、辻会計年度任用職員、布施担当課長（立命館大学地域連携課地域連携担当課長）

#### 1.開会

##### 【事務局】

皆様、定刻になりましたので、只今より、令和3年度第2回アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会を開催させていただきます。ここで、会議に入ります前に、当運営懇話会で委員を務めていただいております、田中浩子様におかれましては、去る9月14日、ご逝去されましたので、ここに謹んでお知らせいたします。それでは、まず始めに、草津市総合政策部長で草津未来研究所副所長の木村が御挨拶申し上げます。

##### 【木村副所長】

皆様、こんにちは。草津市総合政策部の木村でございます。本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。今年、政府が発令した「緊急事態宣言」の対象地域に滋賀県が追加された影響で、8月末から9月にかけて、UDCBKを休室とさせていただき、10月から再開をさせていただきました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会が変化するなかで、UDCBKの施策や組織形態を環境に順応させていく必要があると思っており、本日の報告にあります事業の中間報告や、協議内容にあるオープンスペースのあり方について、皆様それぞれのお立場から様々なアイデアや御意見を頂戴し、来年度に向けて参考とさせていただきたいと考えております。本日はこれまでの取組みをさらに発展させていけるよう、御出席の皆様のお知恵を借りたいと思いますので、ぜひ忌憚のない御意見を申し上げます。

##### 【事務局】

それでは、次に配布資料の確認をさせていただきます。本日の次第と資料1～2、また委員変更がございましたので委員名簿をつけております。議事に入ります前に、人事異

動等により、新しく委員になられた方がおられますので紹介をさせていただきます。今年6月25日より委員を委託させていただきました、株式会社滋賀銀行草津支店長福知俊治様です。また、10月から立命館大学地域連携課地域連携担当課長の布施様が草津市との地域連携関係で業務にあたっていただくようになりましたので、本日、参加いただいています。それでは、開会にあたりまして、座長から御挨拶をお願いいたします。

**【座長】**

新型コロナウイルスの感染の状況が落ち着いてきて社会全体が動き出しているなど感じています。色んな職種の方とお会いしますが、それぞれの活動の状況も変わってきていることも日々、実感しているところです。UDCBKの事業につきましても社会の変化に合わせて見直すべきところは見直して、さらに変化に対応した事業をしていく必要があると思っています。懇話会では活発な御意見を頂ければ大変嬉しく思います。よろしくをお願いいたします。

**【事務局】**

ありがとうございました。それでは、ここからは座長に司会をお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

**2. 報告**

**【座長】**

それでは、次第に従いまして進めたいと思います。まず、令和3年度実施事業中間報告について、事務局から説明をお願いいたします。

**【事務局】**

(資料の説明)

**【座長】**

委員の皆様から御質問、御意見あればお願いします。

**【A委員】**

多岐に渡り活動していただいています、気になったのが社会実験準備事業です。お金を出して研究した成果を市民の方に聞いて活かしていくというのが本来の目的だと思うのですが、草津に住んでいても成果報告会等がいつどのように行われるか情報が入ってこない、一般の市民向けに情報発信をどのようにしているのか教えてください。

**【事務局】**

御指摘の点は行政としても非常に悩んでいるところです。市のホームページやフェイスブック等で周知はしていますが、市民の方がそのページまでたどり着くのに非常に時間がかかって見にくいという話も伺っております。もう少し地域の方に入っていきながら、地域からも情報発信をしていただけるようにしていきたいと思っています。老上学区がLINEを開設されていて、そこでUDCBKの事業内容の情報も流していただいているのですが、そういったことも実際出向いてお話をしてみないと繋がっていかないので、草津市内の14学区で少しずつそのような働きかけをしていきたいと思っています。また、以前懇話会で御意見を頂いていたインスタグラムの開設は、何とか今年度中に予定しております。今までと違った方向から皆さんの目に留まるような工夫をしていきたいと思っております。

**【A委員】**

広報は使っていないのでしょうか。

**【事務局】**

広報くさつの原稿の期限と日程調整が合わないということもあり、使っておりません。

**【A委員】**

社会実験準備事業では先端分野の研究もされているので、広く市民の方に伝えていただければと思います。

**【B委員】**

情報発信に関してですが、市のホームページやチラシなど市民から見ると文字が多くて読みにくく難しいという印象です。もう少し市民が気軽に入っていけるような分かりやすい言い回しとかビジュアルとか、気を使った方が良いのではないかと思います。

**【事務局】**

前回の懇話会で御指摘をいただいたのでタイトルなど分かりやすくなるよう心掛けたのですが、また改めてレクチャーいただけるとありがたいです。

**【B委員】**

後期のアーバンデザインスクールのタイトルを「子育てからまちづくりを考える」から「一緒に子育てからまちづくりを考えよう」とするだけでも印象は変わると思います。そういうちょっとした言い回しだと思います。

#### 【C委員】

以前の懇話会で、アーバンデザインスクールで子育てを取り上げてほしいと提案したところ採用してくださってありがとうございます。子育ては興味のある方が多く、私からもスクールについて、補足を加えながら周囲に情報発信しています。開催時間について子育て世代には参加が難しいとの声がありましたので、次の課題として対象世代に合わせた時間設定を考えていただくと良いのではないかと思います。

#### 【事務局】

開催時間は参加された方のアンケートをもとに組んでいるところがあります。また今後、対象としている年代がどの時間帯なら参加できるかということに参加されていない方からの御意見も頂いて改善に努めたいと思います。

#### 【D委員】

開催の時間帯が合わない方や見逃してしまった方のために、オンラインで録画したものをUDCBKのスクリーンで流す等、対応はできないでしょうか。

#### 【事務局】

この件はZOOMでオンライン開催を導入してから検討してきました。講師の先生の著作権の関係で公開できない場合もあるので、今年度中に問題点を整理して検討したいと思っています。

#### 【座長】

確かに、著作権としての問題がありますが、可能なことについては、挑戦していただきたいと思います。今年は南草津ビジョンが策定されました。UDCBKにおいてもこのビジョンをどう具体化し、様々なところとどのように連携していくか、検討していく必要があると考えています。また JR 南草津駅の新快速開通から10年を迎えました。都市計画を進めるにあたって南草津エリアは重要地点であり、UDCBKとしてアーバンデザインという観点から様々な課題に取り組んでいく必要があると思っています。

### 3. 協議

#### 【座長】

それではオープンスペースのあり方について、事務局から説明をお願いします。

#### 【事務局】

(資料の説明)

**【座長】**

コロナ前とコロナ後という状況も踏まえてデータやこれまでの御意見を整理して頂きました。賃貸借料がUDCBKの予算の約半分を占めているということです。

**【E委員】**

センター長から説明します。2016年にUDCBKが開設されましたが当時はフェリエ南草津の5階で、非常にコンパクトでサロンのように使われていました。当初は、とにかく市民の方に認知していただくことが大事でアクセスがしやしくないと気軽に立ち寄れないということで、草津市にお願いして駅前の1階で探していただけませんかとリクエストしました。いくつかの候補の中から自由に市民の方々が集まっていたのにふさわしいということで現在の場所になりました。フェリエ南草津の5階は手狭でなかなかたくさんの方に集まっていたことやセミナー等を行うことが難しかったので、そこよりは広い場所を探しました。大は小を兼ねるということで豊かなオープンスペースを有効に活用しようと思っていましたが、今の広さまでは必ずしも必要ではなかったかもしれません。いくつかのグループが気軽に集まれて色々な作業ができるようなスペースというニーズが多くあり、今のような利用状況になっています。オープンスペースについてスタッフが管理をしたり、アンケートを取ったりすることは本来のまちづくりの仕事からずれていたりするので、これからどのように活用していけば良いか、運営の方法について委員の皆様から自由に御意見を頂ければと思います。

**【座長】**

経緯と状況について御説明いただきました。現在は学習での使用が半数くらいを占めています。それを踏まえてどういう活用をしていけば良いか、どのような運営が望ましいか、データを揃えましたので皆様から御質問、御意見をいただいて協議を深められたらと思います。

**【F委員】**

オープンスペースでのセミナーやスクール等のイベントは目的があって活用されていると思いますが、それ以外の時の利用で集まってきている人々、別々の団体がお互いにコミュニケーションを図れるような体制ができれば色々な話し合いの機会が増えると思います。学習に来られた方も参加できるような体制を取られてみてはいかがでしょうか。それから費用対効果についてですが、指標としてどのようなことを考えておられるか教えてください。

**【事務局】**

オープンスペースでのコミュニケーションについては、過去に利用者が何か取り組ま

れる際に御要望に応じて、関連する団体さんを紹介させていただいた事例もあり、これからそのような活動が盛んになるようにUDCBKとしても取組みを進めていきたいと思っています。費用対効果についてですが、UDCBKは公が運営していますので組織の目標値を立てております。当初は施設の利用者数でしたが、利用者が多ければ目的が達成できているわけではないということで、利用者数とともに、産学公民の連携のための相談数をとっています。連携数となると実際に相談を受けてから連携して事業が実現するまで何か月も時間がかかるため数が非常に少なくなりますので、産学公民それぞれの連携相談件数を集計しております。また先ほど話にあった学習している方同士のコミュニケーションは現在非常に取りにくいです。今はイヤホンをして作業をする方が多く、入室してすぐ目の前の課題に取り組みれたり同じグループ内で作業をされたりしています。事務局としてはなるべくお声掛けしてスタッフがコミュニケーションを取るのが精いっぱいという状況です。

**【副座長】**

学習で占有されている時間帯は具体的にわかりますか。

**【事務局】**

高校生や大学生の方は土曜日などの休日は朝から利用されています。平日は放課後からの時間帯で、テスト期間中は午後から利用されています。

**【副座長】**

自習室のような形なのですね。図書館では学習は出来ないようですが、そういう人たちはその後、塾に行ったりするのでしょうか。塾待ちで利用されていますか。

**【事務局】**

高校生は学校の帰りにUDCBKに立ち寄って勉強するという形が多いです。塾待ちで利用されているのは小学生やその保護者の方が多いです。

**【副座長】**

以前にフェリエ南草津の塾に通う子ども待ちの保護者の方が利用されていると聞きましたが、それはまだ続いていますか。

**【事務局】**

コロナ後、少し減ったものの、続いてはいます。コロナの状況で保護者の方々が同じ場所で待機するのを避けておられるのかと思いますが、一部は残っています。

**【座長】**

リアルな状況が把握できたと思います。フェリエ南草津の図書館は本を借りるだけの施設で、南草津駅周辺には他にUDCBKのような公共的なところはないので、学習するのにちょうど良い場所だと認知されていることが影響しているかもしれません。

**【G委員】**

場所が非常に良いのでイベントスペースや展示等で積極的に貸し出すということとはされないのでしょうか。お金を取るかどうかは別にして市民の方が自主的にまちづくり関連で活動したものを展示して人が集まってくるというような形で使用できないでしょうか。まちづくりセンターと棲み分けをしないといけないと思いますが、そういったことの要望等にはどう対応されていますか。

**【事務局】**

貸室ということは今のところ考えていません。貸室になると一つの団体だけが使ってしまうので違う団体同士がつながっていくことが難しいということ踏まえて、今現在、貸室はしておりません。イベント等の展示についてはアーバンデザインに結び付けることを前提とさせていただくようにしています。持ち込み企画をそのまましたいという場合はなかなか難しいですが、色んな角度からつなげていくことは可能になってくるのでお話を伺って可能なものについては対応させていただいています。現在、ルールなどは決めていないので、明確なルールを決めた方が活用されていくのか、皆さんの御意見を頂きたいと思います。

**【座長】**

いくつか具体的な展示の事例はありますか。

**【事務局】**

以前に玉川中学校の美術の授業で草津にまつわるお菓子のパッケージを作ったものを展示させていただきました。それは利用者の方からお話を聞いて事務局から中学校に問い合わせをしてつながっていきました。現在展示させていただいているのは立命館大学の及川先生、阿部先生の学生さんが草津をフィールドに演習したものの成果物です。他にはSDGsの学生団体など、お話ししながら対応させていただいています。

**【G委員】**

非常に丁寧に対応されているので、施設の目的に合った利用は非常に大事だと感じました。

### 【A委員】

目的として様々な年代の人がまちづくりに参加できるようにするためには、利用者のデータを見ると現状は非常に年齢層が偏っていると思います。草津市は健幸都市を謳っているのでまちづくりの主役になるべき層、60代以上の高齢者層の利用率が下がっているのは致命的だと思います。また多様な層に利用してもらう工夫を考えていくためには利用者の使用時間帯をしっかりと調べることが大事ではないかと考えます。高齢者は平日の午前、主婦の方たちは午後、その後に学校が終わった学生、各年齢層の行動の時間帯をしっかりと把握した上でそれぞれの年齢層に合わせた情報を壁面スクリーンで流す等してみてはいかがでしょうか。行くところがないけれどUDCBKに行ってみたら色々な情報を得ることが出来たというような評判が伝われば自然と口コミで集まってくると思うので、まずは多様な年齢層を引き込んでそこから何が出来るかということだと思います。もう一つはオープンスペースに本を置くべきだと思います。図書館と提携して都市計画や地域づくりに関わる本をUDCBKに集めてまちづくりについて知りたいことがあったらオープンスペースで読んでもらうようにすれば、まちづくりの拠点としての目的は達成できます。図書館でわざわざ調べて借りるのは大変だけれど、ここに行けば草津に特化した情報が分かるというようなスペースになれば魅力的になると思います。それともう一つ、現在の利用者アンケートをもう少し分析する必要があると思います。このままだとオープンスペースは必要ないという話になってしまいます。UDCBKが休室中でも90%以上の人が自分のやりたいことが出来ていて不便はなかったと答えています。またこの90%の多くは学生だということで、これでは実態を見誤ってしまうと思います。我々が知りたいのは一般の人が休室中にどれだけ不便を感じていたか、UDCBKのどのような部分にメリットを感じていたかということです。ここが分からないとこれから実践していくことに対してのデータになり得ないので、学生と一般の人を分けて課題を分析する必要があると思います。またオープンスペースは学生が使えるフリースペースとまちづくりのためのスペースをしっかりと分けて、まちづくりを目的とした人がいつでも利用できるように場所を確保することも大切だと思います。

### 【事務局】

利用者の年齢層と使用時間帯の把握についてですが、コロナの状況になってから利用者の方の入室時間と退出時間を毎日記録しています。利用者の方に負担なく年齢層の把握もできるようなデータの活用方法を考えたいと思います。本については南草津図書館から月1回テーマを決めて本を展示していただいているのですが、まちづくりに特化した本ではないので、今のものにプラスして地域づくりやまちづくりに関する本が置けるように働きかけていきたいと思います。アンケート調査については全体的に中高大学生の利用が多いので、どうしてもこのような結果になってしまいます。特別調査アンケー



トの際には御指摘いただいた内容を盛り込むことを検討したいと思います。

#### 【H委員】

時間帯別の混雑率はどのようになっているのでしょうか。情報発信の時にも思ったのですがターゲットとコンテンツの関係が曖昧になっているように感じます。私は無料の勉強スペースになっていても良いと思っています。それが本当にその人たちにとって必要なものであれば、ある程度費用をかけて市が提供しても良いけれども、オープンスペースが全く使用されていないとか、本来の目的であるまちづくり関係で使いたい人が使いたいときに使えないということがまずいので、時間と内容と年齢層をしっかりと把握してやっていくことが大事になると思います。また、集中して勉強されている人たち同士をつなげようとするのは、難しいかもしれませんが、学生が南草津に住んでいて良かったと思えるのであれば、それはそれで良いことだと思うので、利用者の満足度が高まるように出来たら良いのではないかと思います。

#### 【事務局】

今は中高大学生の利用が多いので学校の授業に合わせて混雑率が変わるという状況です。試験前は多少混雑します。高齢者の方はワクチン接種の影響か、徐々に午前の利用が多くなってきましたが、混雑して使いにくいという状況は今のところありません。一般の方がコロナをきっかけにZOOMでの活動に切り替えたりして生活様式が変わったことがオープンスペースでの小中高大学生の存在が目立ってきた一つの要因だと考えられます。先ほど御意見いただいたスペースの区分けも一つの良い案だと思っています。またアンケートで学習場所としてUDCBKでなくても不便はないという結果がありましたが、あれば利用したいという意見もあります。選挙権が18歳になり若い方々の要望に応えていくことも行政の役割だと考えております。オープンスペースについては、UDCBKで取り組むのか、それとも他の部署で取組んでいくのかということについてはしっかりと調査をして決定していく必要があると思っています。今の段階では、この施設で学習できて良かったと思ってくれるような将来の担い手を大きな目で見ている部分はあります。今後このままで良いのかということについてはそれぞれの立場から御意見を頂ければと思います。

#### 【H委員】

行政としてオープンスペースという場所が必要であればUDCBKが負担するのか他の部署が負担するのか分かりませんが、いずれにしても費用はかかってくると思います。

**【事務局】**

UDCBKには毎年全体で約2000万円の予算がついています。約半分程が賃貸借料となっているので、場所の問題が議論となっています。

**【I委員】**

オープンスペースを廃止するという案はないのでしょうか。

**【事務局】**

オープンスペースを全く無くしてしまうと議論の場がなくなってしまうので、縮小するというイメージだと思います。子どもたちの学習する場所がないということはあのオープンスペースがあったからこそ分かったことで、その場所をどこが担保するか、それぞれの利用状況に合わせた場所を作ったうえで縮小という形にしていけないと、単にスペースの縮小は出来ないと思います。

**【I委員】**

施設の本来の目的が達成されていないとなると、廃止という議論もなされるべきではないでしょうか。

**【座長】**

そういった話もあり、廃止とはいかなくても、規模縮小といったことも必要かという議論になっています。集まる場所は必要であるとして、現在のような広さは必要かといったことも含めて協議しています。子どもたちの学習のためというのはUDCの本来の使い方ではないだろうと先ほどからも御意見をいただいておりますが、このまま継続か縮小か廃止か、どういうことがあり得るのかということを整理して考えるべきだと思います。

**【G委員】**

コロナが終息した後にみんなが集まるつながりの場が求められると思うので、オンラインでできるから縮小したら良いというようにはならないでほしいと思います。しばらく様子を見ながら、まちづくりの拠点として議論したり活動したりできるのが良いと思います。

**【事務局】**

実際ZOOMで参加されている方からもリアルで開催されるワークショップに参加したいという声も頂いています。このコロナ禍でも展示や大学生の成果発表の場として一部活用できるようになりましたが、他に何か良いお知恵があればお願いいたします。

#### 【座長】

今できることをやっていくということが求められています。もっときめ細やかに情報提供の時間帯や混雑率などを考慮して、いずれ人が集まってくる時に備えて最大限やっていくことが必要だと思います。

#### 【J委員】

UDCBKのオープンスペースは駅前でもとても良い場所にあると思います。コロナが落ち着いてきて出勤率が上がったと同時に通勤で駅での待ち時間が増えてきたので、駅前にある利点を活かしてこういったフリーで利用できるところをもっと周知していくと良いと思います。会社の社員はビジネスチャンスを狙っていて、最近では地域の中でどうやって開発した商品を売っていくか、どうやってお客さんに寄り添っていくかということを考えています。例えばUDCBKに入ったら自然と地域の課題などが情報として入ってきて、次の商品開発につながっていくといったことが、目的となる未来のまちづくりのベースになっていくのではないのでしょうか。勝手に情報が入ってくるスペースは良いなと思います。

#### 【事務局】

今UDCBKには昨年作り上げた都市と交通のシナリオが貼ってあります。先ほど御意見いただいた地域づくり、まちづくりの参考となる書籍を配置することで、展示物を見る方へ促すことができるのではないかと思います。

#### 【J委員】

やはり先ほども話に出ましたが人が来る時間帯とコンテンツの整合だと思います。会社の社員は、朝はフレックスのため、8時～10時や19時～21時にUDCBKに寄れるのかなと思います。その時間にコンテンツを合わせると良いのかと思います。

#### 【C委員】

私は、平日の午前中にUDCBKを利用しています。KIFA(草津市国際交流協会)のやさしい日本語サロンに参加していますが、立命館大学の留学生の方にはZOOMではなくて直接集まれるというのが良い点だと喜んでいただいています。この場で御紹介したいのが、UDCBKで学習されていた高校生の方が、大学生になって、先日SDGsで石鹸づくりの企画を考えてくれたのですが、UDCBKが御縁でつながれたと思っています。そういった事例が増えれば学習している学生の使われ方についての見方も変わってくるのではないかと思います。

#### 【事務局】

お話しいただいた事例は年に1、2人出てきているという状況です。学習しに来ている高校生などは勉強に集中していて将来的なまちづくり等についてはまだまだ意識が向かないと思いますが、そういう時間に少しでも意識できるような雰囲気を作っていくことは大事だと思います。年代や利用状況に応じた情報発信を出来るところからやっていって、またそういう事例の紹介ができるようにしたいと思います。

#### 【K委員】

学生が多く利用していることを活かさない手はないと思っています。現在オープンスペースの入室時に受付作業をされているので、その時に付箋を渡して月ごとや週ごとにテーマをもってそれについての意見を書いてもらうなどしてみてもどうでしょうか。以前にお伝えしたかもしれませんが、学生がオープンスペースを利用するだけでなくUDCBK側も学生の意見をもらうことによって、学生たちにとってもまちづくりや社会参加のきっかけになると思っています。イヤホンをして勉強しに来ている学生のリアルな声が拾えるのはそのタイミングではないかと思っています。また情報提供のコンテンツとして近隣の大学にも協力してもらって、動画で情報を流せたら良いのではないかと思います。

#### 【事務局】

先日開催されたJRのセミナーの時には中高生の利用者の方に質問のアンケートを取って、それをもとにセミナーの構成を考えたりしました。なかなかセミナー自体に参加してもらうことは難しいので、こういう機会に意見を聞いていくということをしています。これは以前にお聞きした御意見を参考にさせていただきました。毎日の実施となるとテーマや期間について工夫した方が良くと思うので、若者が苦痛なく答えられるような方法についてまた具体的な御意見をお聞かせください。

#### 【副座長】

昨日の夕刻、テレビ番組で草津市が取り上げられていました。番組内容としては、大津市と草津市で何があるかということを一覧して行くもので、大津市はびわ湖テラス、鮎ずし、近江牛が紹介されており、草津にはde愛広場、そして「みなくさ」があると紹介されていました。番組内ではUDCBKは紹介されませんでした。が、「みなくさ」に行ったらUDCBKがあり、寄っていきこうかというように思ってもらえるように、南草津を盛り上げるその中心としてUDCBKに頑張ってもらいたいと思いました。

#### 4. 閉会

#### 【座長】

今できること、これから取り組んでいくべきこと、課題の整理について様々な御意見

ありがとうございました。オープンスペースはUDCBKの事業の一つであり大変大きなインパクトを持つものであります。頂きました御意見は今後の運営に活かしていきたいと思っております。御協力いただきましてありがとうございました。

**【事務局】**

委員の皆様、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。本日頂きました御意見を参考に、大学だけに限らず企業の方とも連携してオープンスペースのスクリーン等で情報提供を行っていただければと思っております。引き続きお力添えくださいますようお願い申し上げます。最後に、南草津駅に新快速が停車して今年で10年を迎えまして、UDCBKではJR西日本と共催してパネル展をいたします。JR草津駅、JR南草津駅にパネルを掲示させていただくのと、ハイライン協定を結んだ関係で京都梅小路にもポスターを掲示させていただきますので是非御覧頂ければと思います。それでは本日の運営懇話会を閉会させていただきます。皆様、どうもありがとうございました。